

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月21日 (2013.11.21)

【公開番号】特開2012-157593(P2012-157593A)

【公開日】平成24年8月23日 (2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-033

【出願番号】特願2011-20118(P2011-20118)

【国際特許分類】

A 4 5 D 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 1/00 5 0 9 A

A 4 5 D 1/00 C

A 4 5 D 1/00 5 0 2 B

A 4 5 D 1/00 5 0 3 B

A 4 5 D 1/00 5 0 4 B

A 4 5 D 1/00 5 0 5 E

A 4 5 D 1/00 5 0 6 A

A 4 5 D 1/00 5 0 7 B

A 4 5 D 1/00 5 0 9 Z

A 4 5 D 1/00 5 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月3日 (2013.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

髪処理用の加熱部 (17) を備えている本体部 (1) と、本体部 (1) に装着した状態において加熱部 (17) の外面を覆う筒状の保護キャップ (2) とを備えており、

横臥姿勢で載置面 (T) に載置した状態の保護キャップ (2) の外面に、載置面 (T) 上に載置される載置部 (25) と、本体部 (1) を支持する受止部 (26) とが設けられており、

保護キャップ (2) が本体部 (1) の載置台を兼ねていることを特徴とする美容機器。

【請求項 2】

保護キャップ (2) の周面に、本体部 (1) を保護キャップ (2) の周面から浮き離れた状態で支持する複数の受止めリブ (38・39・40) が形成してある請求項 1 に記載の美容機器。

【請求項 3】

載置部 (25) が受止めリブ (38) で構成してある請求項 2 に記載の美容機器。

【請求項 4】

保護キャップ (2) の周面に、本体部 (1) のずれ動きを防ぐずれ防止構造が設けてある請求項 1、2 または 3 のいずれかひとつに記載の美容機器。

【請求項 5】

ずれ防止構造が保護キャップ (2) の周面に設けた凹部 (56) で構成してある請求項 4 に記載の美容機器。

【請求項 6】

ずれ防止構造が受止めリブ（３９・４０）で構成してある請求項４に記載の美容機器。

【請求項７】

本体部（１）の加熱部（１７）の近傍に、ずれ防止構造と係合して本体部（１）のずれ動きを防ぐずれ止め突起（４３・４４）が設けてある請求項４から６のいずれかひとつに記載の美容機器。

【請求項８】

装填口（２３）に臨む保護キャップ（２）の周壁に、内外方向へ弾性変形可能な弾性腕（３１）が設けられており、

本体部（１）を保護キャップ（２）に装填した状態において、ずれ止め突起（４４）が弾性腕（３１）と係合して、保護キャップ（２）の分離を規制している請求項７に記載の美容機器。

【請求項９】

弾性腕（３１）の遊端の外面に載置部（２５）を構成する接脚体（３２）が設けられており、

本体部（１）を受止部（２６）で支持する状態において、弾性腕（３１）が弾性変形してクッション機能を発揮できる請求項８に記載の美容機器。

【請求項１０】

保護キャップ（２）の外面に、本体部（１）から導出された電源コード（２０）を巻込み収納するコード巻装構造が設けてある請求項１から９のいずれかひとつに記載の美容機器。

【請求項１１】

コード巻装構造が、保護キャップ（２）の一端に設けた第１巻装部（２７）と、保護キャップ（２）の他端に設けた第２巻装部（２８）とで構成してある請求項１０に記載の美容機器。

【請求項１２】

第１巻装部（２７）と第２巻装部（２８）に巻込んだ電源コード（２０）の一部が弾性腕（３１）の外面对向して、弾性腕（３１）の外向きの弾性変形を規制している請求項１１に記載の美容機器。